

## 天理パフォーマンスフェスタ参加

10月28日（土） 山の辺ホールにて

今年の13学童合同行事として、天理市主催のパフォーマンスフェスタに47名の子ども達が参加しました。

各学童から参加者を募り、事前に何回も練習を重ねての参加です。

全体で集まる機会も少ない中、みんなで一つの作品を作るとなると大変です。

指導員の先生方で、いかに子ども達が生き生きと頑張っている姿を披露できるか、何回も何回も案を練り直して組み立てていきました。

当日は丹波市第一学童を利用して、事前のリハーサルを行いました。

あいにくの雨で、ダブルタッチの練習は外で出来ませんでした。舞台の上でどのように跳ぶのか、事前につかめずに、子ども達は本番を迎えることになってしまいました。その為、練習では跳べていた子ども達も本番で跳ぶことが出来ず

に、残念な思いをさせてしまったと後悔しております。

雨の為急遽、山の辺ホールとなり、一輪車も披露するつもりでしたが、舞台の上では落ちることの危険性を考慮し、辞めざるを得ませんでした。せっかく練習してきた子ども達に申し訳ないと思いつつも、仕方のない苦渋の決断でした。

リハーサルでは、休憩中は無邪気に危なっかしく遊んでいた子ども達も、曲がかかり出すと、「自分はどの位置にいて、何をして、どのように動くのか」考えて、自然と体が動いてい



ました。これにはビックリしました。先生が何も言わなくてもちゃんと分かっているのです。すごく練習を頑張ったのだなあとすぐに分かりました。

高学年の女の子達は、事前につけた名札を全員とってあげたりして、先生方の手伝いをしてきていました。やっぱり頼りになります。

手首に付けたアンパンマンは柳本学童の子ども達が作ってくれました。頑張っというお守りになり、勇気を貰いました。

控え室から出る前には、先生からの最後の言葉を真剣に聞いていました。



「あーたのしみ。」と言いながら舞台に向かう子もいましたが、みんなの顔は真剣そのものでした。あんなに無邪気にしていたのに、口を開かず、静かで緊張している様子は隠しきれませんでした。



大きな舞台での発表は本当にドキドキしたと思います。



見ている私たちも「頑張っ」と心の中で念じながら、ドキドキして見ていました。

そんな中でも、子ども達は舞台の上で輝いてくれました。笑顔で楽しく踊ってくれました。会場からは手拍子が自然に沸き上がり、会場内が一体となりました。

学童を超えての絆が出来上がり、ダンス、曲を通して異年齢がつながり合う、すばらしい時間でした。

舞台の最後に掲げた幕は、各学童を回して、13学童全体で作りました。

子ども達からは、「来年も出たい。」「すごく楽しかった。」という声が聞けたので、良かったです。

子ども達のこの笑顔のために沢山の苦勞、工夫を重ねながら本番を迎えられたこと、感謝しております。

応援に来て頂いた保護者様、学童の子ども達や指導員の先生方、雨の中ありがとうございました。

子ども一人一人の新しい一面を発見出来た喜びとともに、また日頃の保育も頑張っ参ります。

貴重な時間をありがとうございました。

